じいじ・ばあばにも知っていてもらいたい

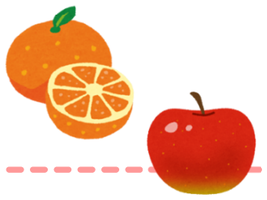
今どき子育ての常識

祖父母世代の子育て	今の子育て
抱っこ	
「抱きぐせ」をつけると、赤ちゃんが抱っこを求めて泣くようになり、手がかかる。	抱っこは大事なスキンシップ。心の成長にも必要だから、たくさん抱っこしたほうがよい。
うつぶせ寝	
頭の形がよくなる。寝つきがよくなる。	乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防策のひとつとして、医学上の理由がない場合は「あおむけ寝」が推奨されている。
授乳の間隔	
3時間おきに授乳するといい。育児書にも書かれていたし、産院などでも指導された。	母乳の場合は赤ちゃんが欲しがったら授乳する。ミルクの場合は3時間が目安となる。
母乳	
数十年前はミルクの利用が流行っていた。	母乳が母子関係の充実や母親の健康増進に役立つ事が分かってきた。
湯上りの白湯	
湯上りに白湯を飲ませていた。	離乳食が始まる前の水分は、母乳・ミルクで十分。

医学等の進歩や環境の変化で、子育て方法も変わるのね

昔の子育てでは常識だったんだね

祖父母世代の子育て	今の子育て
食物アレルギー	
アレルギーについて一般的に知られていなかったため、あまり気にされていなかった。	20～30年前に比べ、食物アレルギーの子が増えている。父母と医師で決めた治療の進め方を尊重し、一緒に気をつけて欲しい。
離乳開始前の準備	
3･4か月から、離乳食の準備として、果汁などをスプーンで飲ませることが勧められていた。	果汁の過剰摂取による低栄養や、発育障害との関係が報告されているため、離乳食開始前に果汁を与える必要はない。スプーンの使用は、離乳食開始以降でよい。
箸やスプーンの共用	
大人が噛み砕いた食べ物を離乳食として子どもに与えていた。大人が使っている箸やスプーンで食べさせる事も普通だった。	生まれたばかりの赤ちゃんの口にはむし歯菌はおらず、大人から感染することが分かってきた。そのため、箸やスプーンは共有しない。周囲の大人は、自身の口の中をむし歯菌のない清潔な状態に保つことが大切。



【問い合せ先】
雲仙市千々石町戊582
雲仙市健康福祉部　子ども支援課　子ども健康班
TEL：0957-36-2500